

2年2組 技術・家庭科 授業案

日 時 令和5年11月10日(金) 10:30～11:20

場 所 富士市立吉原第二中学校 体育館

授業者 村瀬 悠夏

- 1 題材名 健康に・快適に・安全に住まう (7/10) B (6) アイ (7) ア
～日常の中に非日常を取り入れて～

2 題材の目標

住生活における「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせ、健康・快適・安全で豊かな生活を営んだり、生活文化を継承したりする視点から、モデル家族の住まいについて考える実践的・体験的な活動を通して、家族の生活と住空間の関わりや安全な住空間についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付けるようにする。また、日常生活と災害時の備えとの関わりなど、住空間の整え方を多角的に捉えることで理解を深め、生活の中から問題を見いだして課題を設定し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。さらに、家族や地域と協働し、よりよい生活の実現に向けて、適切な住空間の整え方を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。

- (1) 家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。
家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。

【知識及び技能】

- (2) 家族の「健康」「快適」「安全」「防災」を考えた住空間の整え方について、問題を見いだして課題を設定することができる。

解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

- (3) 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活を創造し実践しようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ・家庭内の事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	・家族の「健康」「快適」「安全」「防災」を考えた住空間の整え方について、問題を見いだして課題を設定できる。 ・解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し実践しようとする。

4 題材構想

(1) 生徒の実態

令和5年3月に本校の生徒(第1・2学年の生徒約290人)を対象に、住生活への興味・関心についてアンケートを実施した。「学習内容で興味・関心がある内容はどれですか」という質問に対して、52%の生徒が「食生活」と答えたのに対して、6%の生徒が「住生活」と答え、学習内容の中で最も関心が低いことが分かった。理由として、食生活の学習内容では、調理実習等の体験的活動により、「楽しい」、「またやってみたい」という記述から、成功体験として捉え家庭での調理にも結び付けている生徒が多く、好意的に受け止めていると考えられる。

一方で「住生活についてどんな学習をするか理解していますか」という質問に対して、53%の生徒が分からないと回答した。「住居は当たり前にあるものだから」や「住居に関することは親に任せている

から」という理由を記述する生徒が多かったことを踏まえると、生徒にとって、住まいを整えることは親の役割だと当たり前のように考えていることが推測できる。

しかし一方で、小学校で学習した「整理・整頓」や「清掃」、「季節に合わせた住まい方」などの知識及び技能を日常生活に取り入れて実践している生徒も多い。これらのことから関心が低い内容でも、題材を工夫し、基礎的・基本的な学習の理解を深めれば、家庭での実践に繋がることが分かり、生活で活かせる実践的な課題に取り組むことが必要であると再認識した。

そこで、生徒がよりよい住生活の実現に向けて、課題を見だし、その解決に向けて考えていけるよう、住生活における基礎的・基本的な知識及び技能を深く理解し、それらを活用しようとする実践的な態度を身に付けることが重要であると考えた。

(2) 題材観

本題材は、内容B「衣食住の生活」項目(6)「住居の機能と安全な住まい方」と(7)「衣食住の生活についての課題と実践」における指導項目のうち、ア「(ア)家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解すること」「(イ)家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解すること」、イ「家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫すること」の中から、「住空間の整え方について工夫すること」を取り上げた題材である。

また、近年では、地震や集中豪雨など自然災害への事前の備えが一層求められている。中学校学習指導要領解説 技術・家庭編では、「幼児や高齢者の家庭内の事故を防ぎ、自然災害に備えるための住空間の整え方を重点的に扱い、安全な住まい方の学習の充実を図ること」と記されている。生徒は「幼児の発達と生活の特徴」や「高齢者の身体的特徴」においては事前に学習しているので、本題材と既習内容とを関連付けながら、生徒の知識がより深まったり、本題材を通じて新たな発見をしたりすることを期待している。

さらに、災害時に備えることは特別である(非日常)と考えるのではなく、「健康」「快適」「安全」に整えた住空間が結果的に災害時にも役立つ備えと捉え、「日常の中に非日常を取り入れて」を、題材をつらぬく問いとした。題材の中で、生活の営みに係る見方・考え方を健康・快適・安全の視点で働かせながら、体験的・実践的な学習活動を取り入れ、個人の考えをグループ学習の中で比較・検討したり、幼児や高齢者の立場になって考えるなど多角的に捉えたりすることを通して、住空間について課題を見だし、それらを解決する実践的な態度を身に付けられるようにしたい。

(3) 授業観

主体的に営む実践的な態度を育成することを目指して、本題材をつらぬく問いとして「健康に・快適に・安全に住まう～日常の中に非日常を取り入れて～」と設定した。指導にあたっては、家族の生活と住空間の関わりや住居の基本的な機能、および家庭内の安全を考えた住空間の整え方を理解したうえで、生徒の実際の住空間について考えるようにする。実践的推論プロセスを用いて、問題解決的な学習の充実を図るために「Do=まずやってみる」を設定した。授業では、生活経験の乏しい生徒が疑似体験をする場面をつくり、学習を進めていくこととした。「『問題への着目(Do)』→『問題の特定(Check)』→『解決の選択肢の検討(Action)』→『決定(Plan)と行動(Do)』→『省察(Check)』」のPDCAサイクルを繰り返すことで、生徒の思考は次第に深まり、主体的に課題を解決しようとする力が身に付いてくると考えた。

そこで、課題を解決するためには、『問題点に気付く』ことが必然となる。そのために、基礎的・基本的な知識及び技能を発展させ、家族構成やライフステージの変化等に応じてよりよい方法を選択したり、創造・工夫したりする力が必要になる。さらに、同じ課題に対する仲間の考えやICT機器を活用し調べたことなどを取捨選択したり、「防災講話」で得た知識を、「健康」「快適」「安全」という視点に加えて考えたりすることで、生徒は繰り返し自分の考えを再構築することになる。このようなPDCAサイクルによって、生徒が「もっとこうしたい」「なぜ、どうして」などの新たな問いを抱いたり、その解決方法について見通しをもって粘り強く考えたりする姿を引き出したい。また、これらの活動を通して生徒の思考力や判断力、表現力が高まっていくことを期待したい。

5 題材計画

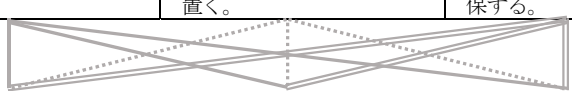
時間	実戦的推論 プロセス	学習内容 (○学習課題・学習内容)	評価		
			知識・技能	思・判・表	主体的
2	Do	○住まいのはたらきや特徴はどんなことだろう。 ・基本的な役割と特徴 ・家族の生活と住空間との関わり ・和室と洋室の違い	・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解する。 【ワークシート①】		
1	Check Action Plan	○家族の願いを叶えるためにどんな空間が望ましいだろう。 ・幼児がいるモデル家族の要望を叶えた、住空間を整える。		・家族が快適に住むための住空間の整え方について問題を見だし課題を設定している。 【ICTの間取りシート】	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい住生活の実現に向けて住空間の整え方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【題材シート】 【ICTの間取りシート】 【リフレクションシート】 【行動観察】 ・よりよい住生活の実現に向けて、住空間の整え方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【題材シート】 【ICTの間取りシート】 【リフレクションシート】 【行動観察】 ・よりよい住生活の実現に向けて、自らの住まいの住空間の整え方について工夫し創造し、実践しようとしている。 【題材シート】 【住空間レポート】 【リフレクションシート】 【行動観察】 【題材振り返りシート】
1	Do Check Action	○誰にでも安全な住まいとは、どんな住空間だろう。 ・幼児や高齢者の事故の防ぎ方 ・安全な室内環境について、部屋ごとの安全対策を調べる。 (ジグソー法①：エキスパート) Aリビング B水回り C寝室	・家庭内の事故の防ぎ方や家族の安全を考えた住空間の整え方について理解する。 【ワークシート②】	・幼児・高齢者の安全を考えた住空間の整え方について解決方法を考え、工夫している。 【ICTの間取りシート】 【エキスパートシート】	
1	Do Check	○災害が起きたら、わたしの家や地域はどうなるだろう。 ・ゲストティーチャーから地域の被害想定や災害時の対策についての防災講話を聞く。	・自然災害に備えて住生活を整える必要があることについて理解する。 【ワークシート③】		
1	Action Plan (Do)	○日常生活に災害への備えを取り入れることができるだろうか。 ・フェーズフリー商品の考え方を知り、それらを住まいの整え方に応用できないか考える。 ・日常生活の備えが災害時に役立つことを視点ごとに調べる。 (ジグソー法②：エキスパート) A健康 B快適 C安全	・自然災害に備えた安全な住空間の整え方について理解する。 【ワークシート④】	・日常生活の備えが災害時に役立つかをA、B、Cの視点で調べたりまとめるたりするなど、実践を評価したり、改善したりしている。 【ICTの間取りシート】 【エキスパートシート】 【行動観察】	
1 本時	Check Action Plan	○モデル家族が「健康・快適・安全」で暮らせる家とはどんな住空間だろう。 ・「健康・快適・安全」の視点で調べたことを日常生活でどう取り入れるか共有する。 ・これまでの学習を取り入れた住空間を考える。 (ジグソー法③：ジグソー)		・日常に非日常を取り入れて「健康・快適・安全」の視点を加えた住空間の整え方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 【ICTの間取りシート】	
1	Do	○自分の住まいの課題はなんだろう。 ・自らの住まいを「健康・快適・安全」の視点やこれまでの学習で学んだことを生かして、課題を見つける。		・自らの住まいの住空間について、問題を見だし課題を設定できる。 【住空間レポート】	
2	Check Action Plan	○課題を解決して、すてきな住まいにするためにどんな工夫が必要だろう。 ・改善点や工夫を考える。 ・計画を仲間と共有する。		・よりよい住空間になるよう、工夫したことを評価したり改善したりできる。 【住空間レポート】 【題材振り返りシート】	

6 本時の指導

(1) 本時の目標

日常生活に災害時の備えが取り入れられるかを「健康」「快適」「安全」の視点で調べた生徒が、それぞれの視点と比較したり、住空間や間取りと関連付けて考えたりすることを通して、他に活用できることや共通点に気づき、住空間を多角的に捉えてよりよい住空間にするための方法を選択し、論理的に表現することができる。

(2) 指導過程

学習の流れと予想される生徒のあらわれ ○発問 主発問			形態												
<p>○これまでの学習で調べたことやまとめたことを確認しよう。 『リビング・水回り・寝室でできる安全対策』</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">リビング</th> <th style="width: 33%;">水回り</th> <th style="width: 33%;">寝室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 動線を広くすることで、高齢者が車いすになっても生活しやすい。 細かいものは幼児の手の届くところに置かない。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> キッチンでは、幼児の手の届くところに危険な物を置かない。 浴室との温度差を無くすために、脱衣場に暖房器具を置く。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 祖母の体に配慮して、ベッドを準備する。 足元を照らすライトを設置しておく。 物を整理して、動線を確認する。 </td> </tr> </tbody> </table>  <p>『健康・快適・安全』の視点で、災害時の備えを日常生活に取入れる』</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">健康</th> <th style="width: 33%;">快適</th> <th style="width: 33%;">安全</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> カーテンの有効活用 【日常】プライバシーの保護 日差しの調整・室温調整 【非日常】ガラスの飛散防止 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 収納家具を低くする。 【日常】空間が広く感じる。 【非日常】家具の転倒防止 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 引き出しにチャイルドロックを付ける。 【日常】幼児の誤飲防止 【非日常】荷物の散乱防止 </td> </tr> </tbody> </table> <p>○モデル家族が「健康・快適・安全」で暮らせる家とは、どんな住空間だろう。</p>			リビング	水回り	寝室	<ul style="list-style-type: none"> 動線を広くすることで、高齢者が車いすになっても生活しやすい。 細かいものは幼児の手の届くところに置かない。 	<ul style="list-style-type: none"> キッチンでは、幼児の手の届くところに危険な物を置かない。 浴室との温度差を無くすために、脱衣場に暖房器具を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 祖母の体に配慮して、ベッドを準備する。 足元を照らすライトを設置しておく。 物を整理して、動線を確認する。 	健康	快適	安全	<ul style="list-style-type: none"> カーテンの有効活用 【日常】プライバシーの保護 日差しの調整・室温調整 【非日常】ガラスの飛散防止 	<ul style="list-style-type: none"> 収納家具を低くする。 【日常】空間が広く感じる。 【非日常】家具の転倒防止 	<ul style="list-style-type: none"> 引き出しにチャイルドロックを付ける。 【日常】幼児の誤飲防止 【非日常】荷物の散乱防止 	<p>◎教師の支援・留意点 ☆評価</p> <p>一斉</p> <p>◎前時までの生徒の考えを提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ジグソー法①とジグソー法②のエキスパートメンバーがそれぞれの班に配置されるようにグループ分けを行う。 <p>◎それぞれの視点で考えたことや部屋によって考えた対策に共通点や活用できることはないか、考えが膨らむように促す。</p> <p>班</p> <p>◎ICT 間取りカードを複製するように指示し、前時までのカードと比較しながら、課題に取り組むよう伝える。</p> <p>◎ライフステージや家族構成によって何を優先にするのか、選択することが必要になることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 視点が一つに偏らないよう、また、家族の立場や意向も踏まえて課題に取り組むように確認する。 <p>個</p> <p>◎ICT 機器を活用し、考えを記入したり、間取りシートの家具配置等を変更したり、考えを再構築することを確認する。</p> <p>一斉</p> <p>◎どんな視点で住空間を整えたのか、論理的に表現するように促す。</p> <p>個</p> <p>☆「健康」「快適」「安全」という視点を加えて住空間を多角的に考え、よりよい住空間にするための方法を選択し、論理的に表現することができる。 (思考・判断・表現) (主体的に学習に取り組む態度) 【ICT 間取りカード】 【リフレクションシート】</p>
リビング	水回り	寝室													
<ul style="list-style-type: none"> 動線を広くすることで、高齢者が車いすになっても生活しやすい。 細かいものは幼児の手の届くところに置かない。 	<ul style="list-style-type: none"> キッチンでは、幼児の手の届くところに危険な物を置かない。 浴室との温度差を無くすために、脱衣場に暖房器具を置く。 	<ul style="list-style-type: none"> 祖母の体に配慮して、ベッドを準備する。 足元を照らすライトを設置しておく。 物を整理して、動線を確認する。 													
健康	快適	安全													
<ul style="list-style-type: none"> カーテンの有効活用 【日常】プライバシーの保護 日差しの調整・室温調整 【非日常】ガラスの飛散防止 	<ul style="list-style-type: none"> 収納家具を低くする。 【日常】空間が広く感じる。 【非日常】家具の転倒防止 	<ul style="list-style-type: none"> 引き出しにチャイルドロックを付ける。 【日常】幼児の誤飲防止 【非日常】荷物の散乱防止 													
<p>○どんな住空間を考えたか、理由も含めて、全体で共有しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「快適」の視点は考えやすかったけれど、班の人の話を聞いてもっと工夫できることに気付いた。 高齢者や幼児については、「安全」の視点で考えることが多いけれど、安全だからこそ快適にも繋がると思った。 <p>○住空間を整えるとき、どんなことを意識したらいいだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族の立場やキーワードにあった言葉など、様々な視点で考えて、住空間を整えることが大事だと思った。 当たり前だと思っていた住居だけど、家族が整えておいてくれたと感じた。 自分の部屋だけでも、安全に快適になるよう整えたいと思った。 自分の家も、災害に備えることも含めて見直してみよう。 同じ問題でも、人によって優先順位が違うので、様々な考え方を知ることができた。 															